

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称 第7回「元気センター(仮称)」検討委員会

2. 開催日時 令和2年7月20日(月) 19時から20時45分まで

3. 開催場所 松川町役場2階 協議会室

4. 出席者氏名 「元気センター(仮称)」検討委員

中平文夫、黒澤哲郎、北原ますみ、矢澤親子、原 節子、佐々木孝子、
竹内恵美子、大澤英一、伊藤頼人、何原弓弦、市原すみ子、加藤 博、
飯島 光、岡村匡人、北林 皎、宮澤武彦
松川町社協:栗畑局長、丸山栄子、金子八恵子
親愛の里松川:大澤孝史、藤澤恵、関秀之
【理事者】宮下町長
【事務局】保健福祉課:米山課長・米山係長・佐々木係長、
(欠席:北原紀子、山本安津子、佐藤孝司)

5. 議題(公開)

- (1) 元気センター(仮称)に係る経過のまとめ
- (2) 「意見書」及び「提案書」とそれに対する課題等
- (3) 元気センター(仮称)の方向性について
- (4) 全体スケジュール(案)について
- (5) その他

6. 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

7. 傍聴人の数

0人

8. 会議資料の名称

- ・第7回「元気センター(仮称)」検討委員会 次第
- ・元気センター(仮称)に係る経過のまとめ

- ・「旧青年の家及び旧ハローミヤの建物を防災施設として利用すること」を求める意見書
- ・提案書
- ・令和2年5月15日付け「提案書」に対する課題等
- ・元気センター(仮称)の方向性
- ・松川町元大島スーパーマーケットの社会福祉施設(児童福祉施設等)への用途変更について
- ・元気センター(仮称)に係る全体スケジュール
- ・2020年2月16日地域共生社会講演会まとめ
- ・地域共生社会の拠点施設となる元気センター早期建設の陳情書

9. 協議の概要

1. 開会 課長

2. あいさつ 宮下町長

3. 会議事項

(1)元気センター(仮称)に係る経過のまとめ

(2)「意見書」及び「提案書」とそれに対する課題等

米山課長より説明

[意見交換]

委員:P15の説明。繰上償還や一般入札など素人には難しい言葉で分からない。

事務局:繰上償還とは、本来借りたお金を10年で償還すべきところ一括になること。一般競争入札は希望者が公平に入札することであり、特定の人に希望があったからと対応できるものではないためお断りした。

委員:一般入札を行えばいいし、譲渡後の用途変更も計画を変更すればいい。不可能だという理由にはならない。

委員:素人の目で見ているので●●さんの話は悪い話ではないと感じたので質問させてもらった。

委員:関連してP15。1.は繰上償還すれば良い。2.についても条件を付ければいい。3.は変更すればいい。4.については議論されていない。検討する余地はあると考えるが。先程課長の説明で「断った」とあったが事実か。

事務局:候補地についてですが、旧ハローミヤの土地は議会にかけ購入しており、他の候補地を検討することなく事務局として1番ベストな場所と考えている。

宮下町長:ほぼその日のうちにお断りした。町としては町づくりをして儲かるからと変更するべきではない。当日「断るなら断ってくれ」「他の案もある」との事だったのでその場で回答しており、その様子は新聞社も入っており報道されている。

委員:4.文面中「現段階で～」とあるが議論されていない。当時の経過を知っている者として、近隣から防犯上不安な声があり、競売により反社に買われてしまうとよくないという要望があり、また元気センターを検討していたという事で購入。一方競売にかけるという事で非常に短い期間で話が進んだ。議会の賛同を得てとの事だが議会でも意見が出た。候補地複数検討されていた訳ではない。

事務局:老人センターの耐久性等タイミングがあり、複数箇所検討した訳ではないのは確か。

委員:既に断ったとの町長の回答だったが、議会にも話はなかった。満更悪い話ではないと感じた。町有財産の売買の話が全くない。以前 JR 上片桐駅付近の土地の話もあったが検討したのか。

委員:そもそも検討委員会は承認する立場なのか。どういう役割を果たすべきなのか。

委員:候補地がないのは新たに探す時間が今以上にかかると捉えていいのか。

事務局:その通り。様々な意見をいただいて町で方針示せば。

委員:検討委員の出発点は老人センターの代替地を探すタイミングでたまたま旧ハローミヤがあった。本来ならば今年オープンのところ●●さんなど色々意見もらっている。ある程度割り切ってやらないと進まない。P18.19耐震について後4年とある。リフォームし4.5年で壊れては困ると伝えたところ、補修すればもつともつと回答があったが。青年の家の事はわからないが、旧ハローミヤはごちゃごちゃになってしまっていて改めて考えていかないとと思う。

事務局:総合的に考えていきたい。

(3)元気センター(仮称)の方向性について

(4)全体スケジュール(案)について

米山課長より説明

地域活動支援センター:委員 エコール親愛保護者代表:委員 より別紙陳情書の説明

[意見交換]

委員:色々言われる度にあっちへ向いたりこっちへ向いたり、勘弁してくださいと感じる。今宗源原の民家を借りて活動しているが利用者は大変不便している。

委員:町の示すスケジュールでいいのか。

委員:既に2年延びている。最初から作り直すなら仕方ないと思う。

委員:あすなろは飽くまでも臨時の建物。早く建設してもらいたい。

委員:障がいのある方、高齢の方、医学の進歩により寿命は長くなったが、短命で命を閉じ

る方もいる。早く着手すべき。旧ハローミヤ跡地で2階建ての新しい建物を希望する。評価のように、不具合もあるなら防災倉庫にするにしても不適格ではないか。

委員：会議に出る度どうすればと思うが、最終的には事務局に任せたい。建て直しなら自由にレイアウトができるので、使う人が使いたい形にして、なるべく早くオープンしてもらいたい。

委員：色々意見あるが、一つの意見で全て覆される。それがいいのか悪いのか分からないが、こんな失礼な表現はしないなど思いながら読ませてもらった。皆さんの考えがあるが待っている人がいる。早期建設を望む。お金の勘定だけではないと考える。

委員：●●さんが色々考えてくれるのは感謝しますが、立地条件などみんなで考えたり、利用者さんの意見を聞くにあの場所がいい。ただ建物はお店だったので2階建てに建て直しして使うことを希望。利用者さんが待っている。早期に開所を。

委員：沢山のお金がかかるのはびっくりした。●●さんの意見ではあの場所は防災倉庫にしなければならない。立地としては良いと思う。お金がかかり大変だが、みんなが楽しんで集まれる場所を早く造るべき。

委員：立地的には旧ハローミヤ跡地が1番ではないかと。P19 改修解体で2億かかる。新しいものを建てるとなると近隣の下承が得られるかわからない。●●さんの意見のように防災倉庫にして、改めて広い場所を考えてというのは如何か。

委員：P18.19 が最初に示されていればここまで話は拗れなかったと考える。建物を解体してとなると議会での話も違ってくる。2階建てだとエレベーターを付けるだけで何千万もかかり、維持費もかかる。あの場所に固執せずに別の場所がないか考えてこなかったのがそもそもの問題。過去梅松苑でも2千万を20年の賃貸でやったが最終的には3億。この元気センターも2億が3億に。騙された気になる。このままあの場所でやるなら私は委員を辞任させてもらおう。

委員：元に戻る話になるが、何と何が入るのか、どういう形になるのか検討が足りなかったのではないか。旧ハローミヤ跡地ありきでの話になっていたのでは。全部入れ込んでどれだけの大きさになるのか。旧北名子保育園の用途地域を変更すれば面積を基にいっさいがっさい入った形にできるのでは。さすが松川町は優良と言われるような素晴らしい施設にしようとするれば新しい考え方が生まれ、空き家を借りなくても行けるのでは。空き家を使うとなれば、直すお金、駐車場、隣家の許可が必要になる。コロナの大変な時期にお金のいることも出てくるので、土地の面積を考えてもう一度用地を探る方向で進めてもらいたい。

もう一つ。担当ではないと思うが、青年の家の意見について。これはコロナ対策の中

間基地として使えるのではないか。県の予算でできるのではないか。県と交渉できるのではないか。

委員：色々な意見を事務局がまとめてきた。利用者の事を考えてやる気があるのかだけだと思ふ。

委員：色々な意見があり迷ってしまうくらい。ここまで来てこれ以上延ばすとダメになってしまうのではないかと考える。場所はあの場所がいいと思ふ。上手に考えてもらって、私たちが上手に使えばいいと思ふ。

委員：私は以前からこの施設が旧ハローミヤにできるとしたら、避難所として重要な場所になると考えていた。この会は議会の承認を得たのだから中身をどうするのか意見を吸い上げる会議だと考える。議会も迷っているのか？今、言ったもの勝ち、出たもの勝ちになっているのでは。議会はみんなの代表なのだから、それに対しブレずに纏めてほしいと考える。意見があるなら 11 月の町議選に出てもらって進めてもらえれば。この意見書が町民の声なら、私たちの声も町民の声だ。

委員：総合的に判断するとの発言だが、検討委員会の声が十分反映されて出来た建物にしないといけない。

委員：資料が出たので前段細かいことを発現させてもらったが、この委員会はスタート時点から旧ハローミヤ跡地にどういった建物を作るかの会だったと。候補地については検討されていない。研修してきたがその内容をあの場所に使うのは無理があると気づいてしまった。土地の購入が先の話だったので、あの建物をそのまま使うのは難しいと考える。早期に建設したいと私も思うが、予算の問題など総合的に判断しなければ、という事で、町も苦慮しているのかなど。町の持つ土地は委員会に公表されていない。広い土地として、名子原県住跡地、上片桐専用側線や、民間だが航空電子向かいの土地などあるが検討委員会には示されなかった。2 年間建物について学習してこれたかなとは思ふ。「みんないっしょ」という形は委員皆さん共通した認識と考える。

委員：社会文教委員会でも 7/28 皆さんの意見と陳情について判断していく事になり、その後 9 月の議会に諮っていく。皆さんから出た意見「やる気があるか」が一番と考える。以前の設計図ではただ場所があるだけになってしまう。輪島のハブ方式など皆様の意見、参考となる貴重な意見、議員に伝えて判断していきたい。

委員：P17 ハブ方式について。検討委員会では松川町としてはどっちがいいか議論されていないのではないか。それにより建物の方向が全然違ってくる。

事務局：その通りと考える。規模を分散させていくのは新しいと考えるが委員会では検討されていない。私の思いが先走ってしまった形。

委員: 大事なことが検討されていない。

事務局: 伊藤さんからのご意見のように大きな施設でとの考えもあると思う。

貴重な意見沢山いただいた。これをまとめて議会に諮り検討し、お示ししていきたい。

委員: エコールは現在城山から宗源原の民家に移動している。地域の方が温かく受け入れてくれてありがたい。宗源原に行って感じたが空き家が多く、子供が少ない。「子供がいて賑やかになった」と声をかけていただいた。近所の方も何か子供たちのためにできないかと草刈りなど声をかけていただいた。今までは城山が環境的にベストと考えていたが、それだけではないなど。ただ、遊ぶ場所がなく狭い。そういった面からもハブ方式もいいのではと考えた。

委員: よくぞ発言してくれた。宗源原が地域共生の場になったのでは。

午後 8 時 45 分終了